

ざいだん

# NEWS



Vol. 2

(公財) 熊本県移植医療推進財団  
熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1-1  
熊本赤十字病院 社会課内  
2020年10月発行  
<https://kumaisui.jp/>



## ホームページリニューアル

当財団のホームページを全面リニューアルしました。サイトデザインやメニュー構成を見直すとともに、より見やすく、わかりやすくし、スマートフォンにも対応しています。今後より多くの方に見ていただけるサイトを目指し、内容のさらなる充実を図りつつ、タイムリーな情報提供を行ってまいります。

今回、お問合せフォームを追加しましたので、資料請求・賛助会費の払込用紙請求・その他ご意見などお気軽にお寄せ下さい。



パソコン画面



スマートフォン画面

<https://kumaisui.jp/>

熊本県 移植

検索



## 10月は移植医療推進月間

全国GREEN LIGHT-UP Project 2020 (グリーンリボンキャンペーン) in 熊本

グリーンのライトアップが行われました★



熊本総合病院



熊本労災病院



熊本赤十字病院

※グリーンは移植医療のシンボルカラーです

# 新型コロナウイルス感染症等の財団の対応について

新型コロナウイルス感染症の流行により、新しい生活様式での生活が求められています。当財団では、臓器提供等の連絡が入った際は、主治医にコロナ感染の有無を確認し、感染が不明な場合は、PCR検査を主治医に依頼しています。しかしながら、死後に、臓器提供の申し出がある場合も多く、検査に至らないこともあります。感染の有無が確認できなければ、安全な移植を行うことは出来ません。そのため、ご家族には、提供または移植ができなくなる場合があることを事前にご説明しています。

また、献眼については、通常提供施設の部屋をお借りして摘出手術を行っておりますが、現在は、摘出医等が提供施設に入ることすら困難な場合もあり、ご自宅での摘出となることも少なくありません。感染を持ち込まない！持ち帰らない！など、徹底した管理のもと、尊いご意思を尊重できるよう、これからも最善の努力をしております。

## 賛助会費・寄付金のお願い

移植医療の広報活動、角膜摘出の際の物品、摘出に伺う際の費用、角膜移植先への輸送は多額の経費が必要です。この経費は賛助会費収入、寄付金などでまかなっています。一人でも多くの移植を待っている方へ「思い」が届けられますようご支援をお願いします。  
※賛助会費・寄付金は申告により所得控除の優遇措置が受けられます。

賛助会費 : 法人会員 年会費 1口 10,000円  
          : 個人会員 年会費 1口 3,000円  
寄付金 : 金額は問いません

## 賛助会費・寄付金のお振込先(手数料無料)

銀行名 : ゆうちょ銀行  
口座名義 : 公益財団法人 熊本県移植医療推進財団  
口座記号 01740-1 口座番号 145335

ご協力いただける方は当財団までご連絡ください。  
郵便局の専用払込取扱票をお送りします。

### 広報資材

「For」  
臓器提供パンフレット



「愛の光を」  
角膜提供リーフレット



「コインキューブ」  
組立型貯金箱



資料請求・問合せ先 ※ホームページからも申請可

(平日8:30~17:00)

公益財団法人 熊本県移植医療推進財団 ☎ 096-384-2198 (直通)

# 財団設立40年シンポジウムを開催しました

光  
と  
愛  
と

(題字 工藤 正孝氏)

2020年2月9日(日)財団設立40年シンポジウムを熊本赤十字病院にて開催しました。

財団に長年貢献いただいている角膜移植医 くまもと森都総合病院 松本光希先生と熊本赤十字病院に感謝状の贈呈を行いました。

体験報告では、アイバンク設立にご尽力いただいた、柏木明先生のお言葉の代読。親族優先提供で父親からの角膜移植により見えるようになった深田愛氏。お母さまの角膜をご提供いただいたドナーファミリーの富永雄二氏にそれぞれの視点での体験報告をしていただきました。

講演では、全国でも献眼数や移植数がトップクラスの千葉県にある角膜センターアイバンクに研修中の 東京歯科大学市川総合病院 臨床専修医 草野雄貴先生に「角膜移植見聞録」と題して、同センターのRRS方式※についてご講演いただきました。

続くパネルディスカッションでは、当財団の西村真理子が進行役を務め、パネラーに玉川孝氏(熊本葵ライオンズクラブ) 富永雄二氏(人吉ライオンズクラブ) 深田愛氏(角膜移植体験者) 草野雄貴氏(眼科医) 富士登謙司氏(くまもと森都総合病院 視能訓練士) 筒井順一郎氏(熊本赤十字病院 眼科部長 当時)を迎え、参加者からの質疑応答を交えながら活発な意見交換が行われました。

各ブースでは設立当初からの財団の歴史年表コーナーや、アイバンクの歴代ポスターコーナー、ライオンズクラブ様からの寄贈品コーナー、賛助会員募集コーナー、ブラインドグラス体験コーナー、意思表示啓発コーナー等を設けたことで、財団の歴史を振り返り、様々な方に献眼や移植医療の現状を伝えることができました。

当日は、約120名の参加があり、会場は賑やかな雰囲気となりました。

## <開催に御協力・御支援いただいた団体又は個人>

- ・親族優先提供体験報告 深田愛様
- ・東京歯科大学市川総合病院 臨床専修医 草野雄貴様
- ・公益財団法人日本アイバンク協会様
- ・社会福祉法人慈愛園 理事長 潮谷義子様
- ・熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会の皆様
- ・熊本県腎臓病患者連絡協議会の皆様
- ・熊本県腎移植者の会の皆様
- ・ドナーファミリー 富永雄二様
- ・元角膜腎臓バンク協会 理事長 柏木明様
- ・熊本大学眼科学講座の皆様
- ・熊本県眼科医会の皆様
- ・熊本大学医学部アンサンブル部の皆様
- ・熊本県視能訓練士の会の皆様

**ご協力誠にありがとうございました。**

※RRS方式(ルーチンフェーラルシステム)とは・・・市川総合病院が導入している、脳死・心停止前にご家族に臓器提供・献眼の説明・意思確認を行うこと

## 共催事業報告 ～『いのちの授業』をオンラインで開催～

2020年10月18日(日)  
熊本県と熊本赤十字病院及び、KKT!医療ナビ「Dr.テレビたん」主催による市民公開講座がオンラインで開催されました。血液のがんで闘病中のタレント えみりさんによるトークショーや、透析と腎移植の両方の経験者 熊本保健科学大学リハビリテーション学科 飯山準一教授の講演、熊本赤十字病院 小児科 余湖直紀医師による臓器提供の講演、最後は関係者がディスカッション形式で答える質疑応答がありました。約750名の参加申込があった今回の講座では、全国の方に向けた臓器提供や移植医療の普及啓発につながりました。



親族優先提供体験報告



ドナーファミリー



パネルディスカッション



会場の様子

# Q&A 財団に寄せられたご質問

**Q** 関節リウマチ（滑膜炎）の抗リウマチ薬を投薬しているのですが、献血ができなくなりました。献血はできますか？

**A** 献血はできます。



**Q** 知り合いが移植を希望していますので、その方に使って欲しいです。

**A** 臓器移植法により移植者の指定はできません。事前に意思表示をしてある1親等（配偶者・父母・子）のみ親族優先提供ができます。

ご質問をお待ちしています。

## 意思表示方法

### 臓器提供は、家族の承諾が必要です。

大切な方と話し合っ、ご記入ください。意思表示が移植医療への第一歩です。

#### 臓器提供の連絡先（24時間対応）

- 熊本県臓器移植コーディネーター  
☎ 080-2759-9467
- 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク  
☎ 0120-22-0149

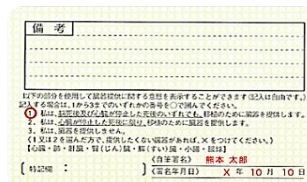
#### 角膜提供（献眼）の連絡先（24時間対応）

- 熊本赤十字病院  
☎ 096-384-2111

※献眼は死後10時間以内です。早めのご連絡をお願いします。



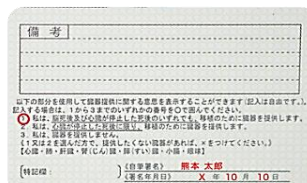
・臓器提供意思表示カード



・運転免許証（裏面）の例



・マイナンバー（表面）の例



・健康保険証（裏面）の例

健康保険証・運転免許証等の裏面をご覧ください。  
※マイナンバーカードのみ表面

## 県内の献眼状況

2020年度累計

- 献眼件数 5名
- 角膜移植を待っている方 123名
- 角膜移植を受けた方 6名

2020年9月末現在

※臓器提供・移植状況は日本臓器移植ネットワークのホームページをご覧ください。

## 臓器移植及びアイバンクの普及啓発ポスターが新しくなりました！



臓器移植普及啓発ポスター



アイバンク普及啓発ポスター  
村上佳菜子氏